

北海道 ITS 推進フォーラム 会報



NO. 15

CONTENTS

- P1 【活動報告】平成 18 年度寒地 ITS ワークショップ
開催報告
P2～3 【活動報告】平成 18 年度講演会 開催報告
P3～4 【活動報告】平成 18 年度地域 ITS 推進研究会開催報告

活動報告

■平成 18 年度 寒地 ITS ワークショップ 開催報告

さる平成 18 年 9 月 8 日（金）に、独立行政法人 土木研究所寒地土木研究所との共催で、平成 18 年度寒地 ITS ワークショップを土木研究所寒地土木研究所 1 階講堂にて開催しました。今回のワークショップでは、積雪寒冷地の視点から見た地域の ITS について幅広い議論を行いました。

～寒地 ITS ワークショッププログラム～

【基調講演】「冬期の道路交通問題に対する秋田での取り組み」

浜岡 秀勝 様

（秋田大学土木環境工学科助教授）

【第 1 セッション】「行政・研究機関からの発表」

座長：浜岡 秀勝 様

（秋田大学土木環境工学科助教授）

・「北海道における外国人旅行者のドライブ観光調査（中間報告）」

畑山 朗 様

（北海道開発局建設部道路計画課調査第 1 係係長）

・「小樽市内における歩行者案内標識の整備について」

～各道路管理者間の連携におけるデザイン統一と QR コードの採用による分かりやすい歩行者案内標識について～

阿部 宏之 様

（小樽市役所都市計画課主査）

・「i-Pod による函館観光案内の実証実験について」

大久保 彰之 様

（はこだて未来大学情報アーキテクチャ学科 鈴木研究室）

・「『北の道ナビ』の 7 年にわたる運営経験から見えるもの」

～北の道の情報ニーズとマーケティングの広がり～

加治屋 安彦 様

（独）土木研究所寒地土木研究所 上席研究員）

・「北海道の ETC について」

若原 俊二 様

（東日本高速道路（株）北海道支社管理事業部 ETC チーム チームリーダー）

【第 2 セッション】「民間企業からの発表」

座長：加治屋 安彦 様

（独）土木研究所寒地土木研究所 上席研究員）

・「プローブカーを用いた道路情報収集とコンテンツ」
大件 真吾 様

（株）北海道朝日航洋生産技術部）

・「ITS 技術を活用した凍結防止剤散布システムの評価試験」
沼田 実 様

（サンコーコンサルタント（株）札幌支店技術部技術課長）

・「寒地道路における走行環境情報の収集・活用に関する考察 II」

田村 寿仁 様

（富士通（株）ITS 事業部開発部部长）

※ 第 2 セッションの発表は、当フォーラムにて募集したものです。



（上写真）基調講演 浜岡助教授のご講演の様相



（上写真）ワークショップの様相

ワークショップへは定員を上回る約 110 名の参加があり、各発表に対して活発な議論が行われました。

（以上、報告：事務局 藤井）

■北海道 ITS 推進フォーラム講演会開催報告

さる平成 19 年 2 月 14 日（水）に、平成 18 年度第 2 回目の北海道 ITS 推進フォーラム講演会を、北海道土木技術会道路研究委員会との共催により、共済サロン 末広の間におきまして、開催いたしました。

当日は、フォーラム会員の方を中心に 63 名の方にご参加をいただきました。

～北海道 ITS 推進フォーラム講演会 プログラム～

【講演 1】「車両データに基づいた冬期路面状態の推定」

中辻 隆 様

（北海道大学大学院工学研究科 助教授）

【講演 2】「リアルタイム地震情報提供の取り組み」

藤縄 幸雄 様

（NPO 法人リアルタイム地震情報利用協議会 専務理事）

【講演 3】「地域協働型自動販売機の取り組み」

上島 信一 様

（北海道コココーラボトリング（株） 経営企画室室長兼 CSR 推進部長）

以下に、講演会での発表の概要についてご紹介いたします。

講演 1 では、車両運動の計測データから路面の摩擦係数を推算する最新の研究について、ご講演いただきました。車両運動については、車載センサ及び車両状態計測システムデータを利用することで、精度の高い車両運動の把握が可能であることが示されました。そして、車両運動から摩擦係数成分を取り出すための解析的・統計的手法について解説され、気象データと組み合わせることで、直近の路面状態の予測については良好な精度が得られていることが紹介されました。今後の課題としては、さらに車両運動と摩擦係数のデータを集積し、気象データと組み合わせることで、半日程度先までの路面摩擦係数を予測することである、とご説明をいただきました。

講演 2 では、最近、気象庁が試験的に提供を開始している緊急地震速報（巨大地震の発生を震源地付近で把握し、間もなく地震波が到達するであろう場所に、あらかじめ予想震度と到達時刻を知らせる）について、その検討の経緯や、パソコンソフトによる地震波伝達のデモを用いたご説明をいただきました。また、緊急地震速報の特徴と限界、及び最終的には広く国民に伝えるべきだが、どのように利用することを啓蒙すべきかといった問題点について解説していただきました。そして、リアルタイム地震情報利用協議会の活動内容をご紹介いただくと共に、緊急地震情報を利用した様々なリスク軽減システムの開発・研究や今後、どのような利用が考えられるのかを具体的な事例を示してご説明いただきました。

講演 3 では、北海道コココーラボトリング（株）が北海道開発局との協働により、自動販売機に設置されているモニターや文字テロップ表示機を通して、自治体のイベント・催事情報の発信やニュースの表示、災害発生時等における自治体・開発局からの道路情報や災害情報の表示、及び災害時に

は遠隔操作にて機内の飲料水を無料提供できる仕組み（フリーバンド機能）等について、ご説明いただきました。高機能化した自動販売機を、単に販売拡大のみならず、地域情報の発信や災害発生時の情報提供媒体として利用する試みとして、非常に興味深いものでした。



（上写真）講演 1 中辻助教授ご講演の様様



（上写真）講演 2 藤縄様ご講演の様様



（上写真）講演 3 上島様ご講演の様様

冬期路面交通や、災害時の情報提供をキーワードとした最新の動向についての講演を3題行っただき、お集まりいただいた皆様には、有意義な時間を過ごしていただけたと思います。

(以上、報告：事務局 藤井)



(上写真) 講演会 会場内の様子

■地域 ITS 推進研究会 開催報告

北海道 ITS 推進フォーラムでは、例年、積雪寒冷地における ITS の展開方法や地域情報の活用方法を調査研究するために、「地域 ITS 推進研究会」を開催しております。平成 18 年度は 3 回開催しましたので、以下に報告いたします。

(1) 第 1 回

日時：平成 18 年 7 月 27 日 (木)
 場所：(財)北海道道路管理技術センター会議室
 人数：参加者 20 名
 内容：

「「これ出すシステム」について」
 ニセコビュープラザ直売会
 事務局長 岩崎 亮治 氏

(発表の概要)

道の駅「ニセコビュープラザ」での農産物直売において、農産品の販売状況を会員農家に知らせると共に、大口注文の通知や申し込みを仲介し、売り上げを集計して金融機関振込依頼書を作成するなどの機能を有する「これ出すシステム」の紹介と運用状況についてお話いただきました。



(話題提供者) 岩崎様

「道の駅等におけるミニ FM の実証実験」について
 小樽開発建設部 道路課
 第 2 調査係長 河門前 勝己 氏

(発表の概要)

小樽開発建設部で、情報提供手段の一つとして取り組んでいるミニ FM の実証実験について、地域情報提供に関するニーズ調査や他局同時放送の実施等を行った実証実験について、その背景と検証結果をご紹介いただきました。



(話題提供者) 河門前様

(2) 第 2 回

日時：平成 18 年 11 月 8 日 (水)
 場所：(財)北海道道路管理技術センター会議室
 人数：参加者 16 名
 内容：

「ITS 世界会議ロンドン大会」について
 ・会議概要報告
 NPO 法人 ITS Japan 普及促進グループ
 部長 高石 幸一 氏
 ・会議に参加して
 北海道開発局 建設部 道路計画課
 道路調査専門官 村上 睦 氏

(発表の概要)

2006 年 10 月 8~12 日にロンドンで開かれた第 13 回 ITS 世界会議のセッションや展示の概要についての報告と、イギリス連邦道路庁における ITS の取り組みやイギリスにおける交通関連施設のご紹介をしていただきました。



(話題提供者) 高石様



(話題提供者) 村上様

「日産 SKY プロジェクト」について
 日産自動車(株) 技術開発本部 IT&ITS 開発部
 企画グループ 主任 藤倉 利之 氏
 (発表の概要)

対車両、対歩行者の路車間通信システムやプローブ情報
 を利用した動的経路誘導システム等の ITS 技術を利用し、
 交通事故の低減や渋滞緩和を目指している、日産の「SKY
 (Start ITS from Kanagawa Yokohama) プロジェクト」
 についてお話ししました。



(話題提供者) 藤倉様

(3) 第3回

日時：平成 19 年 1 月 18 日 (木)
 場所：(財)北海道道路管理技術センター会議室
 人数：参加者 23 名
 内容：

「北海道におけるインターネット道路情報提供と道路用
 Web 記述言語 RWML の活用」について
 (独) 土木研究所寒地土木研究所寒地道路研究グループ
 上席研究員(雪氷チーム&地域景観ユニット担当リ
 ーダー) 加治屋 安彦 氏

(発表の概要)
 北海道におけるインターネット道路情報提供の現状と
 して寒地土木研究所や道内の各開発建設部、札幌市の取り
 組み事例についてご紹介いただき、道路用 Web 記述言語
 RWML の活用についてご説明いただきました。

「日産 SKY プロジェクト」～積雪寒冷地での可能性～
 日産自動車(株) 技術開発本部 IT&ITS 開発部
 企画グループ 主任 藤倉 利之 氏
 (発表の概要)
 前回の発表に引き続き、特に積雪寒冷地における SKY
 プロジェクトの研究課題や将来像について、お話いただき
 ました。



(話題提供者) 藤倉様(左)と 加治屋様(右)

なお、地域 ITS 推進研究会での発表内容や意見交換の詳細
 につきましては、北海道 ITS 推進フォーラムのホームページ
 (<http://www.hokkaido-its.jp/>) の活動報告に掲載してありま
 すので、ぜひご覧ください。

事務局よりお知らせ

- 会報 No.15 の発行が大幅に遅れましたこと、誠に申し訳ござ
 いませんでした。本号では、寒地 ITS ワークショップの話題に
 加えて、2 月に開催いたしました講演会の模様及び平成 18
 年度に開催しました地域 ITS 推進研究会についてご報告いた
 します。
- フォーラムでは、各種連絡・お知らせ、特別会員の国・地方自
 治体の方からの事業や公募のご案内等をホームページや
 電子メールでお伝えしております。電子メールアドレスをお持ち
 の方で、まだ登録がお済みで無い方は、この機会にぜひメ
 ールアドレスをお知らせください。info@hokkaido-its.jp または
 011-232-0048(FAX)で受付しております。ご連絡の際は、会
 員名と電子メールアドレスを忘れずにお願いいたします。
- 連絡先が変更になった場合は変更申込書(ホームページか
 らダウンロードできます)をご利用の上、郵送または FAX で
 事務局まで送付願います。
- 会報第 16 号は平成 19 年 7 月発行予定です。

編集・発行／北海道 ITS 推進フォーラム(Hokkaido ITS Forum)
<http://www.hokkaido-its.jp/>
 事務局／〒060-0001
 札幌市中央区北 1 条西 3 丁目 MNビル 10 階
 札幌総合情報センター(株)内
 ●TEL 011(232)4848 ●FAX 011(232)0048
 ●E-mail info@hokkaido-its.jp